

「夏の楽校」INぷらっと

令和7年度まつかわ町民提案型まちづくり事業
実施報告書

「わたしの楽校」実行委員会

01 実施概要

A poster for a summer camp. It features a young girl sitting at a desk, writing in a notebook. The word 'SUMMER' is written vertically on the left. On the right, the text '夏の楽校' (Summer Camp) is written vertically, with 'inぶらっと' below it. A speech bubble contains text about the camp. At the bottom, there is information about the dates, target audience, fees, and organizers.

夏の楽校は、夏休みに みんなが安心してすごせる
“もうひとつの学校”です。
1時間目は、みんなで宿題をがんばる時間。
そのあとは、なにをするか、自分で決めてOK！
工作？本を読む？英語を学んでみる？
今日の時間割を自分でつくるのも、
この学校のたのしいところ。
いつもとちがう学びや出会いが待ってる場所です。

きょうの時間割は自分できめる。
inぶらっと

1日でも連日でも参加OK！
7/28[月] → 8/1[金]

対象：小学生
参加費：200円/1日
申込締切日：6/29(日)
場所：あらい商店街 ぶらっと
事前申込制 1日最大12名

主催：「わたしの楽校」実行委員会 後援：松川町教育委員会
この事業は「まつかわ町民提案型まちづくり事業補助金」の協力を受けています。

■事業目的

子どもと地域をつなげる場を生み出し、学びを深める

■事業内容

体験学習をつなぐ3本柱

学習タイム：社会と子どもたちの未来

英語：新たな価値観を知る第一歩に

科学：生きる力探求心を育てる

■日時

2025年7月28日(月)～8月1日(金)

■参加者数

小学1～6年生 17名

(各日12～13名、複数日程参加の実施)

時間割

学習タイムは必須。2時間目以降は学習・選択科目から好きな授業を選べる。

	時間	内容
0時間目	12:00~13:00	昼食・準備
1時間目	13:00~13:45	学習タイム
2時間目	14:00~14:45	選択タイム A読書 B学習 C工作 D研究 E英語
3時間目	15:00~15:45	選択タイム A読書 B学習 C工作 D研究 E英語
4時間目	16:00~17:20	フリータイム



02

活動の様子

当日の写真

学 習



1～6年生まで、合計17名
各希望曜日で、12～13名/日の参加者となった
学年に応じてテーブルをわけ、スタッフでま
とめて対応。低学年はマンツーマンで指導し、ほ
とんどの子が期間中に学習中課題を終了した。

学年	人数	学年	人数
1年	3	4年	3
2年	0	5年	4
3年	6	6年	1

英 語



カードゲームを使って、英単語の学習やコミュニケーションをとった。
3～6年生の子が参加し、興味をもって取り組んでいた。

工 作



アイロンビーズ・染め体験などのテーマを扱った。
各々が思い思いの作品をつくっていた。工作をきっかけに、自由研究でアイロンビーズについて、まとめたい子がでて、一緒に模造紙にまとめるなど行った。

研究



研究のテーマ決めから相談に乗り、それぞれの子の興味関心をもったテーマで展開。伊那谷の歴史、めだかの観察日記、水の実験、石の観察など、さまざまな内容で研究を行っていた。

複数日申込のある子が多く、図書館で資料を借り「テーマ決め」➡「準備」➡「まとめ」まで自らで完成させられたことが良かった。

お 昼 の 補 助



希望者に有料で行ったお昼のお弁当については、毎日半数以上の7～9名 5日間で38人が利用。共働きの方、親御さんから助かったとの声をいただいた。メディアでも夏休み中の孤食への地域活動として紹介いただいた。

メディア反響、他

令和7年度 小学校、飯伊地区 地域連携、社会教育、子どもの居場所

地域有志による夏休み中の子どもの学習保障と居場所づくり

「夏の楽校」 (R7.8.1) リラックス&集中!

下伊那郡松川町 社会教育活動 充実の体験活動

経緯の概要

- ・「夏休みの子どもの居場所を充実させたい」「休み帳への取り組みサポートを中心に学習の保障をしたい」という思いを共有する有志で構想開始。
- ・松川町で社会教育に携わる有志7名を中心に実行委員会を設立。

実行委員会の活動内容

- ・内容の検討、役割分担、事務局、講師確保、会場確保
- ・全体会で情報共有と検討。
- ・5日間で1日最大12名を定員として募集。2時間で定員が埋まる。キャンセル待ちが多数発生するほどの期待度。

当日の活動概要

- ・児童12名とスタッフ約8名が商店街中心の会場に集まる。
- ・活動時間は約4時間
- ・1~2人の子どもに対して常時1人以上のスタッフが対応。
- ・子どもは、休み帳や自身で決めた活動に取り組む姿が見られた。

自分で決めた一研究や工作に熱中!

自身のペースで教科学習に集中!

染め物に挑戦

科学実験に挑戦「水のかんさつ」

【実行委員の小島さんのお話】

「まずやってみよう」からスタートしてみました。たくさんの大人との良い関わりを経験した子どもたちが、この場所（松川町）や自分が行った場所で、いつかそれを返せるようになったら素敵だなあと考えています。

文責：南信教育事務所飯田事務所 指導主事 宮澤曉生

南信教育事務所

信州新聞 2025.7.30 第3種郵便物認可

夏休みの児童を支援

住民有志が居場所づくり 松川町

松川町の住民有志が夏休み中の児童の居場所づくりとして学習支援「夏の楽校」を同町元大島のまつかわ・すたいるプラザ「ぶらっ」とで開いている。今日の時間割は自分で決める」を言葉に児童たちが自由に宿題や読書、工作などに取り組んでいる。

夏休み中の児童の居場所 めて企画。28日から8月1日までの1日、12人を定員にする。保護者の負担軽減を図ろうと、町民5人が実行委員会を立ち上げて初回は皆で宿題に取り組む。

スタッフの協力を受けて宿題に取り組む児童ら

その後は宿題、読書、工作、研究、英語から自由に選択する。元教員や英会話講師らがスタッフとして指導している。

家庭の負担軽減のため、希望者には昼食も提供している。

初日の28日は松川中央小学校1~6年の12人が訪れ、自分で時間割を組んで思い思いに活動。スタッフに教えてもらいながら宿題を進めたり、ペットボトルのキャップを再利用したキーホルダー作りに熱中したりと主体的に取り組んでいた。

同校3年の関俊輔君(9)は「分からない問題を教えてもらったので家よりも集中して宿題ができた。夏休みに友だちと会えるのもうれしい」と話していた。

実行委員長の大淵美由紀さん(48)は「好きなことに取り組めるので子どもたちも生き生きしている。初の企画だったが定員を超える応募があり、保護者からの評判もよかったので冬休みや春休みも続けていきたい」と語った。

南信州新聞

メディア反響



長野朝日放送 ABN 8月6日(水) 18:15 放送
ニュースの中のコーナー【あのね】

メディア反響



アンケートの声

来年も参加したいです。！！

とても楽しく通って、宿題や自主学習のまとめ等、ていねいに見ていただき、親としてもとても助かりありがたかったです！貴重な経験となりました。

ありがとうございました（お昼も...！）

3年生保護者

自宅ではなかなか進まない夏休み帳も、

こちらで済ませる事ができ、普段できない体験もさせて頂けました。子供によりそい見守って頂け、とても感謝しています。子供達も毎日楽しく通えました。ありがとうございました。

1・3年生保護者

夏の身校はみんなと一緒に楽しくべんきょうできたので楽しかったです。ぜひまたやってください。

今回、夏の楽校に参加できて、とても良かったと思います。いつもなら嫌々やっていた宿題も楽でやると先生もやさしくおしえてくれて楽しいと進んでやっていました。

勉強以外の工作もとても楽しかったそうです。家で1人で留守番よりとても良い時間をすごせます。是非これからも続けてほしいです。また参加します。ありがとうございました

5年生保護者

決 算 書

収入の部

(単位：円)

項目	予算金額	決算金額	比較増額	備考
参加費	12,000	12,400	400	@200×62
補助金	300,000	298,000	-2,000	町民提案型補助金
自己資金	800	560	-240	
雑収入		0	0	
合計	312,800	310,960		

支出の部

(単位：円)

項目	予算金額	決算金額	比較増額	備考
管理費	消耗品費	660	660	名札代
	イベント保険	2,500	0	-2,500
	備品費	0	0	
活動費	委託代	225,000	225,000	0 講師代+教材費 etc
	会場費	60,000	60,000	0 ぷらっと借り賃
	広報費	25,300	25,300	0 チラシデザイン・印刷
雑費		0	0	
合計	312,800	310,960	-1,840	

A scenic view of a river with a bridge and a dam, surrounded by lush green trees. The bridge is a simple metal structure with railings, spanning the river. The dam is a concrete structure with a waterfall on the right side. The background is a dense forest of green trees under a clear blue sky.

THANK YOU

わたしの楽校実行委員会